

愛鳥週間は eBird でバードウォッチング！

～スマホひとつで野鳥観察がより楽しく～

(公財)日本野鳥の会(事務局:東京、会長:上田恵介、会員・サポーター数:約5万人)は、愛鳥週間(バードウィーク、5月10～16日)に向けて、より多くの方に野鳥に親しんでいただけるよう、キャンペーン「愛鳥週間は eBird でバードウォッチング！」を実施します。

■eBird とは？

eBird (イーバード)は、コーネル大学鳥類学研究室(Cornell Lab of Ornithology)が運営する、世界最大の野鳥観察データベース。日本野鳥の会では、日本語で利用できる”eBird Japan”を2021年11月に公開し、利用者は約4000人にのびります。

eBirdでは、自分が見た鳥を、PCやスマートフォンを使ってオンラインで記録することができ、世界中のバードウォッチャーが観察した野鳥情報にアクセスすることが可能です。eBirdを利用すれば、スマートフォンひとつが、フィールドノートにも、図鑑にも、探鳥地ガイドにもなります。



■5月10日～16日の愛鳥週間期間、eBirdに観察記録を投稿しよう！

5月10～16日は愛鳥週間(バードウィーク)です。この間、好きな時にバードウォッチングをして、その結果をeBirdに投稿してみましょう！この期間、eBird Japan(運営:公益財団法人日本野鳥の会)では、オンラインでのeBird使い方講座、野鳥識別講座を開催するほか、eBirdに観察記録を投稿された方にプレゼントをさしあげるキャンペーンを実施します。バードウォッチングをこれから始めたいという方も、ぜひご参加ください。

【キャンペーン「愛鳥週間は eBird でバードウォッチング！」の概要

●期間:2022年5月10～16日(愛鳥週間/バードウィーク)

●参加方法:特別な申込は必要ありません。期間中いつでも、好きな時間にバードウォッチングをして、見た鳥を「eBird Japan <https://ebird.org/japan/home>」またはアプリ「eBird モバイル」から投稿してください。

特別な場所に行かなくても、家の窓から5分、庭に来た鳥を観察する/通勤や通学の途中で見た鳥を観察する/子供と一緒にいく公園にいる鳥を観察するなど、日常生活の中の観察でも構いません。

●eBird Japanに投稿するには

既にeBirdのアカウントを持っている方は、モバイルアプリ、またはウェブサイトからチェックリストを投稿できます。アカウントを持っていない方は、アカウントの作成から始めましょう。

詳しくはこちらをご覧ください：<https://ebird.org/japan/about/start>

●参加賞：期間中にチェックリストを投稿された方のうち、

- ① 観察した種数が最も多かった方上位10人(同数多数の場合は抽選)に、「サントリー特別賞」としてサントリーホールディングス株式会社提供の「育林材の時計（*写真はイメージです。デザイン、梱包仕様などは、実際の記念品とは異なる場合があります）」

●育林材について <https://www.suntory.co.jp/eco/forest/ikurinzaizai/>



時計（直径約16cm）

- ② 7日間毎日チェックリストを投稿した方 10人（該当者多数の場合は抽選）に、「日本野鳥の会賞」として日本野鳥の会オリジナルグッズ「今治タオル森の野鳥（フェイスタオル&ハンドタオル、写真はイメージです）」

をさしあげます。



【初めてeBirdを使う方、これからeBirdを始めたいという方へ】

① 動画「eBirdの使い方」を公開

eBirdの概要と、観察結果の投稿方法をご紹介します動画ができました。こちらからご覧ください。

<https://youtu.be/pWJea3Esk88>



② オンラインセミナーの開催

eBirdの基本的な使い方を紹介するウェビナー「eBirdを始めよう」、身近な野鳥を識別するポイントを紹介するセミナー「野鳥識別の基本と、アプリMerlinの使い方」の2つのオンラインセミナーを実施します。

■ウェビナー「eBirdを始めよう」

●日時：2022年5月9日（月） 19：00-20：00

●対象：初めてeBirdを使う方、これからeBirdを使ってみたいという方

●方法：Zoomウェビナー（定員400名）

●解説：葉山政治/岡本裕子（公益財団法人 日本野鳥の会）

●内容：eBirdの概要と基本的な機能、野鳥観察結果の投稿方法（モバイルアプリから、ウェブサイトから）をわかりやすくご紹介します。

●お申込みはこちら：<https://form2.wbsj.org/ebird-20220509>



■セミナー「野鳥識別の基本と、アプリ Merlin の使い方」

- 日時：2022年5月12日（木） 19:00-20:10
- 対象：eBirdを使いたいけど識別に不安があるという方、初めてアプリ「Merlin 野鳥識別」を使う方
- 方法：Zoom ミーティング（定員 95 名）
- 講師：奴賀俊光（公益財団法人 日本野鳥の会）
- 内容：身近な野鳥の識別の基本と、識別をサポートするアプリ「Merlin 野鳥識別」
(<https://ebird.org/japan/about/merlin>) を使う際のポイントをご紹介します。
- お申込みはこちら：<https://form2.wbsj.org/ebird-20220512>



■5月14日(土)は「グローバル・ビッグ・デー(世界一斉野鳥カウント)」

5月14日はコーネル大学鳥類学研究室が主催する世界一斉野鳥カウント「グローバル・ビッグ・デー (Global Big Day)」です。この日に投稿された観察記録は、リアルタイムでグローバル・ビッグ・デーのサイトから見るすることができます。



*Global Big Day

<https://ebird.org/globalbigday>

■eBird とは

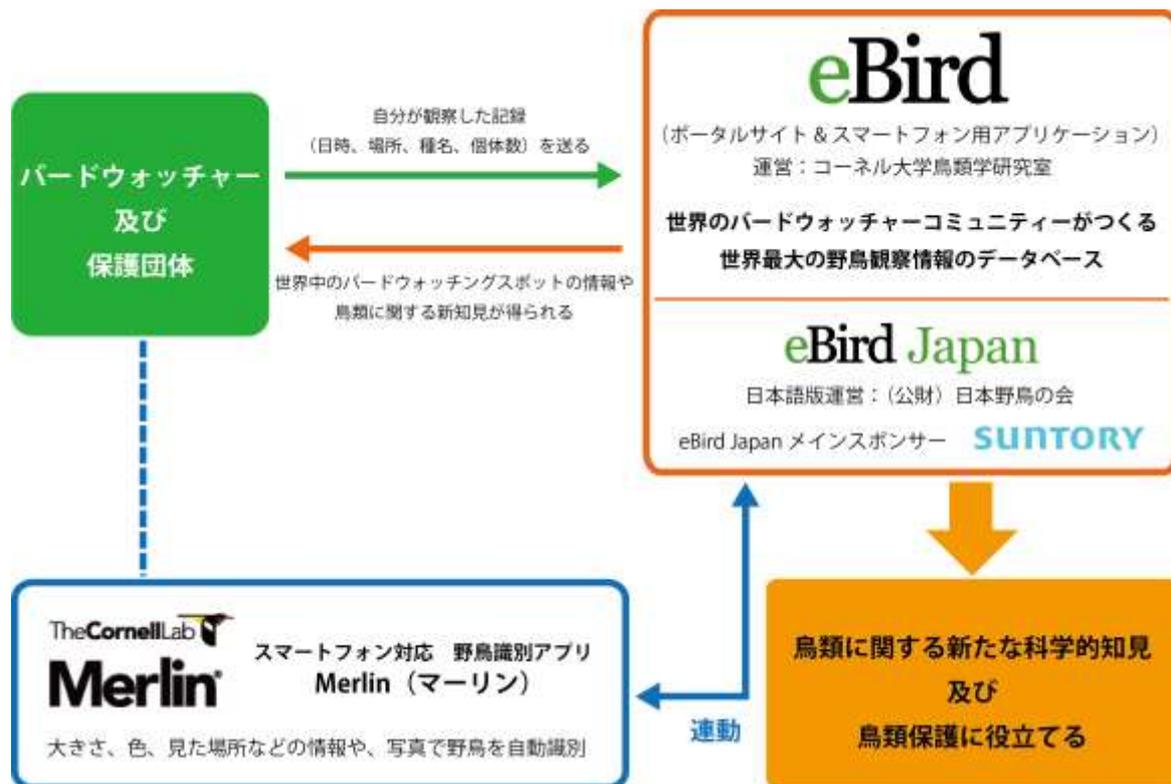
●世界的な科学研究プロジェクト

eBirdは、コーネル大学鳥類学研究室が運営する、世界的な科学研究プロジェクトです。世界中のバードウォッチャーの野鳥観察記録をオンラインで共有し、鳥類の研究や保護に役立てることを目的としています。2022年4月1日現在、eBirdの利用者は763,086人にのぼり、日々増え続けています。

●13か国語に対応 非営利ならば自由に利用できるデータ

eBirdは、コーネル大学鳥類学研究室と、世界中のパートナー団体、何千人もの地域の専門家、何十万ものユーザーとの共同で運営されています。日本のポータル“eBird Japan”は、サントリーホールディングス株式会社の協賛を得て、(公財)日本野鳥の会が運営管理しています。

eBirdは13か国語に対応しており、世界中で利用できます。また、eBirdのデータは、調査研究や教育活動、自然保護活動など非営利目的であれば、自由に利用できます。



■日本野鳥の会 組織概要

組織名：公益財団法人 日本野鳥の会（会員・サポーター 約5万人）

代表者：理事長 遠藤孝一

所在地：〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

URL：<https://www.wbsj.org/>

■本件に関するお問い合わせ先

（公財）日本野鳥の会

〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

担当：自然保護室 葉山政治／岡本裕子

電話：03-5436-2633 E-mail：ebirdjapan@wbsj.org